

あなたの「できる」を刺激する

# CHANGE!

Vol. 02

2009 June

巻頭インタビュー

## Fine View

撮影/福里幸夫  
文/川中紀行



### 書を通して人間の可能性を広げながら、 書の本質をつきつめていきたい。

## 武田 双雲 (書道家)

#### 書とは

日本人なら誰もが経験する書道。それが書道家、武田双雲さんを通すと、どのような意味に変化するのか。書とは、自分と向き合うため、そして他人に思いや考えを伝えるためのコミュニケーションツールだという。なるほど、彼がしたためた書は、実に能弁に語りかけてくる。

「書とは、心にわきあがってくる感情や頭で考えたことを文字つまり言葉を通して具現化し、その人なりの感覚や感性を駆使して人に伝える行為です。だから、そこに書かれたものは、言葉そのものの意味はもちろん、文字の形



や配置などを含む全体がメッセージになります。そして書道家とは、書にしたためた言葉を通して、人々の心の中にある感情や考えを交換し合うコーディネーターの役割を担う存在だと思います」

#### 価値観を変えた路上体験

書道家としての原点がストリートに

あると聞けば、驚かれる方がいるかもしれない。しかし路上で得たものは大きかったという。

「25歳の時にサラリーマンをやめて『ストリート書道』を始めました。何をやっていいかわからなかったのが、思わず路上に出たというのが本音です。いざやってみると、恥ずかしいし、コンプレックスもわいてくるし、人からばかにされるという恐怖心にまで襲われま



## The Front Row

クルマと社会の  
方・程・式

#### 破れない記録

トップアスリートが前人未到大記録を樹立した瞬間、スポーツ実況で「今世紀中は破れない」などと表現することがある。一流選手の記録はそれほど強烈なインパクトで常にファンに迎えられる。

オリンピック・世界選手権で実施される陸上競技の屋外種目に限定した場合、男女で最も長い間破られていな



い世界記録(2009年5月20日現在)は、1983年7月26日に生まれた「女子800メートル」の記録1分53秒28である。

陸上競技における肉体の理論やシューズ機能などが日進月歩にある環境下で、26年間も世界記録であり続けること自体、奇跡かもしれない。

トップアスリートという存在が以前より英雄視されるのは、新たな記録樹立を多くの人が待っている表れでもある。人類の頂点に立つ最高の記録は今や、アスリートのものであると同時に、ファンのものであるといえよう。

#### 新型ゴルフ、クルマの本質

「これ以上のクルマはつくれない」  
—。開発者にこうまで言わしめた、ク

ルマがある。

トップアスリートの記録と同じように感動をもって迎えられた新型ゴルフだ。クルマづくりにおけるこの「記録」もまた、ファンであるドライバーの存在抜きには語れない。ドイツの国策として、一般市民でも買える実用的なクルマづくりを目指して生まれたフォルクスワーゲンであれば、なおさらだ。

自動車発祥の地、ドイツは今なお世界に冠たる自動車大国だ。その大きな



源流となっているのは、部分的に速度無制限区間が残る高速道路「アウトバーン」である。世界に先駆け1935年に開通したこの高速道路を自由に乗りこなすために、高速で乗り心地がよく、安全性を重視したクルマが求められた。

日常的に超高速域を使いこなす国民には、未完成の技術はすぐ見破られてしまう。彼らは、常に性能を実証しながら生活しているといっているほどだ。例えば燃費もカタログ数値だけでなく自分のパターンに合った実用燃費を尊重する。カタログの最高速度は、瞬間的に出せる速度ではなく、ずっと維持できる数字を意味する。そうした国柄でクルマが鍛えられていることが、ドイツ車を性能面で世

界をリードする存在にし続けてきたといえる。



とりわけフォルクスワーゲンは、高度なクルマ社会の中ですべてのユーザーが安心して満足を得られるよう、車種にこだわらずに技術革新の結果を惜げもなく投入してきた。「誰もが得られる最高性能」こそが彼らのフィロソフィーであり、自動車メーカーとして、非常に稀有(けう)な存在といえる。

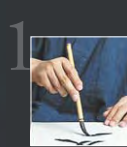
## アスリートが成し遂げた偉大な記録のように、 感動をわき上がらせる最高のゴルフが生まれた。



書道家 武田 双雲が選ぶ

## CHANGE SELECTION 10

CHANGE!



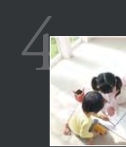
1 書  
言葉が湧き、集中する時間。それは、封印していた感情を解放する瞬間でもある。



2 作業衣(さむえ)  
仕事ではほとんどこれを着用。着替えた瞬間に気分がシャキッとする。



3 本  
知識の吸収と知恵の獲得のため、科学本から哲学、ビジネス系まで幅広く読む。



4 家族との時間  
自宅に妻、3歳の息子、1歳の娘と、仕事を忘れてのんびりと過ごす。



5 海の散歩  
気分転換と健康維持のため、近くの江ノ島や鵜沼の海岸をのんびり歩く。



ニケーションから始まるのだと実感しました」

これほどまでに武田さんを熱中させる書の魅力とは、どこにあるのだろうか。

「好きだからと言うほかありませんが、墨を含んだ筆の弾力が何ともいえず好きですね。だから書いていて純粋に楽しい。もうひとつ大きな魅力は、僕の書いたものが人にいい影響を与えられたときに実感します。時には感動して涙まで流してくれる人さいます。書にはそれだけの力があります。だからこそ、僕は『書道パフォーマンス』であれ、書道教室であれ、この取材を受けている瞬間だって最高のパフォーマンスを出そうと心がけています」

した。しかし、そんな思いもしばらくすると吹っ切れ、素の自分、世の中の本質のようなものが漠然と見えてくるようになりました。価値観が1度、リセットできたのでしょね」

「いま振り返れば、当初は『自分を見つけてくれ』『書かせてくれ』と自意識が強すぎたのかもしれない。やがて『この人、つらそうだな。会社で何かあったの

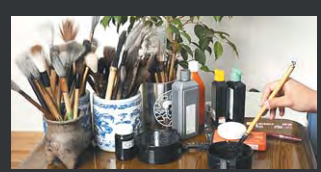


かな。僕の書で元気づけられたらいいな』と街行く人に興味を持つようになると、次第に人が集まり始めました。そして、相手の話をよく聞いて相手の立場で書いた書には感動してくれることを知ったのです。感動はやはりコミュ

### 可能性は無限大

書道教室をはじめ、書によるコミュニケーションを通じ自らの思いを伝える場を提供している。人が変わるきっかけは、そこから生まれていく。

「書は、書くことで自分の感情や本音を自然に引き出す力を持っています。そこで自分自身と向き合えたときに、僕は『あなたの可能性はそんなも



んじゃないよ』って伝えています。結局、みな自分で限界を作ってしまうだけです。僕は書を通じて、その限界を超えるお手伝いをしているにすぎません。立ち位置を少し変えるだけで、知らないまま眠っている才能が開花することもあります。僕の夢は、書を通してできるだけ多くの人の可能性を広げていくことです。その数がもし1億人に達すれば、社会や国、そして世界すらいい方向に変えていきます。これって、スゴイことですよ」



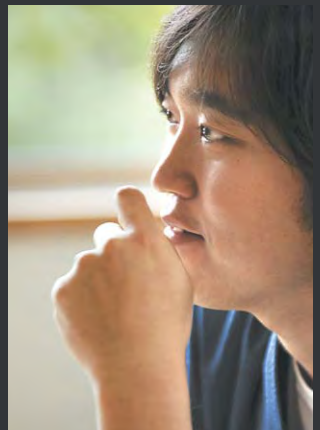
### 本質を追究し続ける

書を通じ人間の可能性を広げる活動を展開する一方、書の革新を起しているイメージがある武田さんが、果たしてどこに向かっているのだろうか。

「僕自身は特に『革新』を意識していませんし、大きな変化を好まないタイプだと思います。ひよっとすると日々の小さなチャレンジの積み重ねがある時、外から見ると大きなチャレンジに見えるのかもしれませんが。ただただ目の前にあることに全力で取り組んでいるだけです」

「書はつきつめれば、規律性と創造

性のせめぎあいといえます。僕の作品やスタイルには革新的なイメージがあるかもしれませんが、規律性を無視して創造性ばかりを追求しているわけにはありません。それでは書の本質であるコミュニケーションが成り立たなくなってしまう。やはり本質をつきつめていくことがいちばん大切でしょう。これは書であれ、人生であれ、同じかもしれません」



ただけ・そうら

書道家。1975年熊本県生まれ。東京理科大学理工学部卒業。3歳より書道家である母・武田双葉に師事。大学卒業後、NTT入社。約3年間の勤務を経て書道家として独立。2009年NHK大河ドラマ「天地人」の題字なども手がける。書道教室「ふたばの森」を主宰し、門下生は200人を超える。著書に『たのしか』『カルポナラばかり注文するな』『書の道を行こう』などがある。

### 新記録に匹敵する感動

そんなフォルクスワーゲンが初代ゴルフを生み出したのは1974年。前輪駆動を採用し、コンパクトながらも大人5人が余裕を持って座れるパッケージングで世界にセンセーションを巻き起こした。その衝撃的な「記録」以来、フォルクスワーゲンの顔となったゴルフには、すべての世代で最新技術が注ぎ込まれてきた。それは、時代ごとにクルマ



の本質を見つめ、可能性を追求してきた歴史でもあった。

そして2008年、初代ゴルフ以来の衝撃で迎えられたのが、新型ゴルフである。それこそまさに「今世紀中は破れない」と表現される新記録の感動に匹敵する。これまで限られたドライバーのみが享受できた静粛性、エンジンパワーをスムーズに効率的に伝えるパワートレイン、高級なインテリアのしつらえとともに、現代に必須の驚くべき燃費性能。クラスを超えたこれらの性能が主力車種ゴルフすべてのグレードに備わったのである。

### 可能性の極限へ

ひとつのクルマの到達点を予感させる新型ゴルフ誕生の裏には、これまでの

クルマの常識をくつがえした同社の「Reset Your Values.」というコンセプト



がある。ラグジュアリーカーだから高級感があるとか、エコカーだから環境性能が高いなどという「常識」や「思い込み」は、新型ゴルフで変わるという考えだ。実際、新型ゴルフを体験すれば、われわれがこれまでクルマに求めていたすべての価値観をリセットさせられてしまう。新型ゴルフには、クルマに乗るすべての人が革新的な技術や高品質の恩

恵を受けるべきだという、フォルクスワーゲンのフィロソフィーを見て取れる。これこそが「国民のクルマ」を意味する社名を冠する、フォルクスワーゲンのDNAといってもいいだろう。

遠い未来を考えれば、これ以上のゴルフが生まれる可能性はもちろんある。しかし、新型ゴルフはそれを想像することさえ許さない完成度に到達している。まさにトップアスリートの出した世界記録と同じだ。



## クルマに抱いていた価値観が、新型ゴルフから変わる。



DATA	1.4TSI Comfortline	1.4TSI Highline
全長/全幅/全高	4,210×1,790×1,485mm	
ホイールベース	2,575mm	
車両重量	1,290kg	1,340kg
エンジン種類	直列4気筒DOHC インタークーラー付ターボ	直列4気筒DOHC インタークーラー付ターボ +スーパーチャージャー
総排気量	1,389cc	
最高出力	122ps/5,000rpm	160ps/5,800rpm
ミッション形式	7速DSG	
10・15モード燃費	16.8km/l	16.2km/l



お風呂で瞑想  
(めいそう)  
ゆっくりと湯船に  
つかりながら、さま  
ざまなイメージトレ  
ーニングを行う。



夜のドライブ  
湘南の海沿いの  
ルートを、夫婦で  
たつぷりと会話を  
楽しみながら走っ  
ている。



ブログ  
日々の思いをつ  
つ「書のカ」は、思  
考の整理にも役立つ。  
http://ameblo.jp/  
souun/



喫茶店  
鶴沼海岸にある  
きつけの喫茶店で、  
コーヒーをじっくり  
味わって飲む。



書道教室  
さまざまな世  
代の生徒さんたち  
の生のコミュニ  
ケーションを大切  
にしている。

### Special Column クルマ解剖

## 新型ゴルフ の本質と出会う

クルマを走らせるよるこびを  
満喫させてくれる新型ゴルフの  
4つの特長を紹介する。  
1つひとつに見事な  
技術の結晶がある。



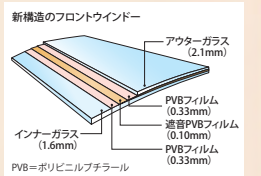
### Pickup 1

#### 静粛性

初採用の新構造ガラスと、徹底的な騒音の分析から生まれた優れた遮音性

新型ゴルフの騒音対策の象徴ともいえるのが、新構造のフロントウィンドーだ。音響減衰効果のある遮音層を含む3層構造の中間膜を、ガラスとガラスの間に挟み込み、車外からの音の侵入を大幅に低減させ、今までにない静粛性を生み出した。さらに、フロントのサイドウィンドーの厚さを10%増し、二重リップのウィンドーガイドシールを使用。通常、ラグジュアリークラスのみ用いられる構造で、ガラスを伝わって侵入する音まで遮断する高性能を極める。

風切り音が低減するようドアミラーの形状を変更し、見逃されがちなタイヤのイズやエアコンの送風音も遮音材やパーツ形状の改良で抑えるなど、細部までの密な騒音分析の成果が圧倒的な静粛性に結びついている。



### Pickup 2

#### エンジン

小排気量ながら、驚くほど力強い走り  
と燃費性能を奇跡的に両立したTSI

フォルクスワーゲンの「TSI」を採用。燃焼室にガソリンを直噴する技術と、駆動や排気の方で圧縮した多量の空気を燃焼室に送り込む過給器(チャージャー)を組み合わせ、排気量1.4Lとは思えぬ驚きの性能を実現している。「TSIハイライン」はスーパーチャージャーとターボチャージャーによるツインチャージャーシステムを搭載。エンジン回転数に応じ両者を使い分け2.4L車並みの力強い加速を生む。一方、「TSIコンフォートライン」はターボチャージャーが2L車並みのパワーを実現。どちらも低速からの素早いレスポンスと高トルクが特徴だ。排気量のダウンサイジングでCO<sub>2</sub>排出量の削減と低燃費、過給技術でパワーアップを実現したTSIは環境時代にまさにマッチしたガソリンエンジンといえる。また、合計9つのエアバッグを装備するなど安全面も信頼できる。



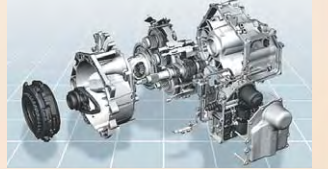
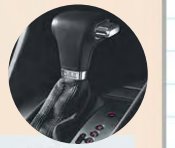
### Pickup 3

#### トランスミッション

スムーズなシフトチェンジで、理想の  
走行と低燃費を可能にするDSG

フォルクスワーゲンが量産車として世界で初めて採用した、デュアルクラッチシステムを備えたトランスミッション、「DSG」。2つのクラッチを精密にリンクさせることで、わずか0.03~0.04秒でのシフトチェンジを可能にし、切れ目とショックのない滑らかな加速を体感させてくれる。

新型ゴルフのDSGは、さらに乾式クラッチを装備。パワーの伝動効率の向上に加え、それまでのオイル回路を簡素化しオイル量を削減、軽量・コンパクト化も実現した。また、1速目のギア比を低くし発進性を高め、7速を高くして高速走行時の燃料消費量とCO<sub>2</sub>排出量の削減につなげる7段ギアボックスを採用している。流体によるトルクコンバーターを使っていないため、操作はオートマチックでも、マニュアルのようなダイレクトなアクセル感覚が得られる未知のドライビングが楽しめる。



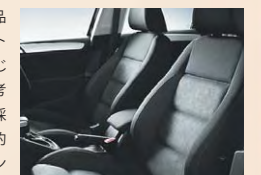
### Pickup 4

#### インテリア

クラスを超えた上質な空間を  
演出する贅沢なインテリアデザイン

最上級車種に乗っているかのような卓越した品質感と造りこそが新型ゴルフの魅力。コックピットに座った瞬間に、優れた素材の質感が五感を通じて伝わる。また、世界各国の人々の体格・体形を考慮した人間工学的デザインをあらゆる設計に採用。操作系エレメントはドライバーにとって理想的に配置される。「TSIコンフォートライン」はコンフォートシートを、「TSIハイライン」はスエード調のアルカンタラとファブリックを組み合わせたスポーツシートを採用し、いずれも長時間座っても疲れにくい形状を実現した。

このほか多彩なメディアが楽しめる最新AVナビゲーションシステムや、席ごとに温度調整可能なエアコンなど、快感に導く洗練された装備が、くつろぎに満ちた贅沢(ぜいたく)な空間をつくり出している。





こちらにも必見、シロッコの魅力を紹介！  
www.volkswagen.co.jp

### Interior & Safety

体を包み込むような上質なレザーシートと、大人2人が余裕を持って座れる後部座席。ゆとりあるラゲージスペースは、この後部座席を倒すと1,006ℓもの容量が確保でき、スポーツクーペでありながら、毎日使える実用性がさらに増す。また、6つのエアバッグ、緊急時に車体を制御するアクティブセーフティー、カーブで点灯するコーナリングライトなど、先進的な安全性能も充実している。

うっとりするほど  
流麗なアビオランス  
さて、首都圏へイエリアをシロッコで駆け巡るルートのラストは開港150周年に沸く横浜である。そこで私は海の底をルートに選んだ。実は海底トンネルがあるそのルートの正式名称は「東京港臨海道路」。港湾物流の機能強化のために設けられたこの道路には、約1・3kmの海底トンネルがあるのだ。シロッコは、もちろんここで軽快なドライバビリティを体感



【カジノ・ヴィアス】上級者向けから未経験者・初心者用の体験コースまで幅広く遊べる

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

シロッコのフォルムに目とれた後は、ベイブリッジを渡り「みなとみらい」方面へハンドルを切る。横浜は、開港150周年を記念した「開港150」でにぎわっていた。横浜都市発展記念館には、昭和戦前期を中心に、都市横浜のあゆみを、まっつくり市民のくらし、都市の文化を切り口として紹介する展示施設。

「日使えるスポーツカー」と表現される理由だろう。華やかな夜景に見送られ、シロッコでゆったりと帰路についた。心躍る走りとそのデザインに満足した一日の最後には、カタログ値に匹敵するほどの平均燃費を示し、走りを楽しめることとく、優秀な環境性能もうかがわれた。シロッコ、まさに2009年のいまこそ乗りたいスポーツカーである。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

ホールド性のよいシートで駆け抜けるコーナリングは本当に気持ちいい。心地よいハンドリングにひたるうち、シロッコは瞬く間に台場方面にさしかかり、東京ウオーターフロントのまぶしい風景が広がる。低回転から高回転まで厚いトルクとともに、よどみなく回るエンジンと、そしてタイムラグなく自分の意思通りに変速できる6速DSGが奏でる最高の協奏曲に出かけても安心だ。



### Driving

低燃費と高出力を両立したTSIエンジン。切れ目のない加速を生むトランスミッション、DSG。そして、減衰力やステアリングを瞬時に調整するシャシーコントロールシステム、DCCなど最先端のテクノロジーが、未体験のドライビングフィールへと導く。

### Design

デザイナー、デシルヴァ氏の手により、水平基調のグリルが斬新なフロントマスクを醸成した。力強い走りも期待させる。その精悍な顔つきに加え、大きく張り出したフェンダーや、流麗な弧を描くルーフラインなどの官能的なフォルムが視線を魅了する。



させてくれた。なめらかなシフトチェンジが小気味よい。ルートは国道357号から首都圏高速湾岸線に変わり、羽田空港を過ぎれば、逆Y字形の主塔が巨大な鳥を連想させる「鶴見つばさ橋」からが横浜だ。

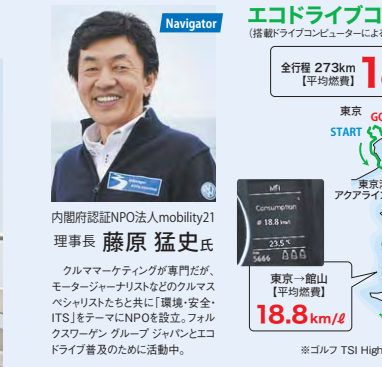


コックピットから伝わる高級感、切れ目のない滑らかな加速と静粛性を体感しながら「5代目は全く別のゴルフ。現代の自動車の完成形と言っている」と藤原氏が



\*10-15モード走行 国土交通省審査値 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なっていますので、それに応じて燃料消費率が異なります。

ドライバーの意識をチェンジ  
10・15モード値(カタログ値)  
このクラスの常識を超える燃費性能を誇る新型ゴルフの実用燃費を試すべく、エコドライブを開始。藤原氏は「小気味よく都心を抜けるのが、エコドライブの意義を語る。自分だけの燃費がよければいい、また燃費のために我慢して走るという発想はエコドライブの本質ではありません。ドライバーの本来の楽しみ、燃費を抑えながら「スピードの価値」を享受し、運転に集中することで「安全性」も高めることが本当のエコドライブだと考えています。スピードを出せる場面では出し、運転自体を楽しみ、なお燃費に配慮をするのです。カタログ燃費も参考になりますが、実用燃費を重視すべきでしょう」



理想のエコドライブを実現  
東京湾アクアラインを快調に走っていた時、藤原氏からこんな発言が飛び出した。「いまの運転状況だと、新型ゴルフがエコドライブを総合的にコントロールしている、その中でも何となく、悪いのがない。そう言わしめたのは、7速DSGとTSIの組み合わせ。エコドライブには微妙なニュートラルワークも必要だが、巡航速度に到達するまでに、このパワートレインが理想の加速を自動的に実行してくれる。

市街地走行でも驚異の燃費効率  
出発地点から館山までの平均燃費は1.8ℓ当たり18.6kmで、15モード燃費値を16%も上回った。一般道では流れに乗って海岸線を走り、鴨川付近で18.7ℓと、燃費の落ち込みもほとんどない。気温は7℃、湿度は70%、エアのオンオフをこまめに繰り返す。外周の国道128号はごく普通の交通量で信号停止、右折待ちもある。「遠くで信号が赤になれば、スロットルから足を離し、後続車に配慮しながら待つ。その間に、燃料をカットできるのがコッソリ。信号停止が長そうならば、まずは特別にアイドリングストップを少しやってみます。加速の基本的な助言を受けつつ、九十九里浜。撮影の後、同18.5ℓ以上を維持したまま東京都心へ向かう高速道路に入った。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

「大黒ふ頭」で休憩する。国内最大級の物流施設を擁するこのふ頭にあるパークキングにシロッコを止めた。潮風に吹かれながら、改めてシロッコを眺める。正面から見ると、2本の水平な直線がヘッドライトにつながったフォルクスワーゲン伝統の表情が実にたくましい。車高が低くトレッドが広いシルエットから、何とも言えないしなやかな存在感が放たれている。キャンピングコンパクトに見せ、リアファンダーを目立たせるなど、プロポーション全体から伝わるのは躍動感あるスポーツカーテイストのもの。キャンディホワイトのカラーもつややかな味わいだ。

\*10-15モード走行 国土交通省審査値 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なっていますので、それに応じて燃料消費率が異なります。

Vol. 02  
2009 June

あなたの「できる」を刺激する

CHANGE!



ROAD TO STORY 2 ~首都圏ベイエリアを訪ねて

エレガントなスポーツの風  
別世界の品質。  
Scirocco Volkswagen

フォルクスワーゲンから実に16年ぶりに登場した、「伝説の」という形容がふさわしいシロッコ。サハラ砂漠から地中海に向けて吹く熱い風の名を戴(いだ)いたこのスポーティーカーへは、誰もが振り返るほど官能的でグラマラスなルックスに、胸熱くなる走りの喜びで運転する者をとらえる。今回の「ROAD TO STORY」は、このシロッコ(2.0TSI)で湾岸エリアを駆け巡った。

ファーストシーンから  
快感に包まれて  
首都高速を銀座方面に向かっ...  
そのクルマは、想像を超えた心地よさを私を運んでくれた。この日、初めて座席に座った瞬間のときめきは忘れられない。

不快な体感を包み込むようなスポーティーなシート形状に、ステッチが入った本革仕立てのシートの醸し出す空気感と質感の素晴らしい組み合わせは、感動の素晴らしさには熱く動いた。さらにこのスポーツカーは、振動をほとんど意識させない、なめらかなドライブングでまず私を驚かせた。アダプティブ・シャシー・コントロール「DCC」と呼ばれるその機能は、ダンパーの振動抑制力などを「ノーマル」「スポーツ」「コンフォート」と3モードで選択でき、さまざまな運転環境で実にしなやかな快感をたっぷりと体に伝えてくれた。



銀座という街が、ハイクラスの伝統と格式をいまなお慈しむ街であることに変わりはない。最先端のトレンドを発信する姿ももちろん魅力的だが、銀座ならではの文化の薫りを私は愛していた。銀座出口で降りると、私はまず西洋アンティークから和骨董(わこどう)まで、さまざまなアンティークモーターを、妻の誕生日の贈り物にアンティークジュエリーを購入した。この世にたった一つと呼んでいいギフトが選べるこの空間を以前からよく利用している。一家言あるオーナーの個性も魅力的で好ましい。

さて、次の目的地は帝劇ビル9階の「出光美術館」だ。銀座の隣のビルの一隅でこんなスマートなアートとの出会いがあるのは意外だが、5月のこの日行われていた水墨画の展示も、巨匠・長谷川等伯の屏風絵(びょうぶゑ)は、はじめ芸術的価値の高さは驚かさない。モノクロームの世界に色彩を体感するほどの鮮やかさだった。

次にシロッコで丸の内方面を目指す。信号で止まると、視線はショーウィンドーに映るフォルムに向けられる。ルーフの低さと長く弧を描いたそのラインは、今まで記憶にないほどスタイリッシュで、まさにスポーティーな風を感じた。特にリアフェンダーのふくらみは官能的でさえある。視線を感じるのは、決して意識過剰ではないと思う。



【アンティークモーター】約200もの店舗が並ぶアジア最大級の骨董ショッピング施設



晴海から有明へ、一般道でのアクセル感を楽しみなながら、エンターテインメントの情報基地として輝き続けるお台場まで、しほしほクルージングアクセルを軽く踏むだけであつという間に加速し、いつの間にかスピードメーターが上がついていく。高まるエンジン音は思わず興奮してしまうほど。スポーティーな味付けがなされる快感が静かな車内に響く感じだ。クールなスポーツカーである。低めの車高は、そんな高速運転でもしっかりと路面をとらえるグリップ感につながり、このうえない安定感で包み込んでくれる。ハンドルに添えるだけでよいほど直進安定性は素晴らしい。安心の制動力と併せ、スポーツドライブングを心から楽しめる。高い剛性感と

クルマの価値が問われる時代に、  
フォルクスワーゲンから3つの革新。  
ニューゴルフ、シロッコ、  
ティグアン スポーツ&スタイル、デビュー。

変化の激しい世の中で、クルマはどうあるべきなのか。  
誰もが心ゆくまで楽しめるクルマとは、どのようなものなのか。  
その答えは、新しく誕生した3つのフォルクスワーゲン。  
走り、燃費、快適性、デザイン、すべてがひとつ先へと進化した。  
この価値を体感するのは、週末、ショールームで。

WORLD CAR OF THE YEAR  
WORLD CAR AWARDS

「ワールドカーオブザイヤー2009受賞 - New Golf」  
昨年デビューした新型車の中から、世界25か国59人のモータージャーナリストがポイント投票により選出。審査基準は、「安全」「環境性」など6項目。  
新型ゴルフは、世界最高の1台を選ぶ「ワールドカーオブザイヤー2009」の栄誉を獲得。

Volkswagen. Das Auto.

Scirocco 2.0TSI / Tiguan Sport & Style / Golf TSI Highline

New Golf TSI Comfortline	4ドア 7速DSG* 右ハンドル 燃費消費率: 16.8km/ℓ <sup>#1</sup> ￥2,750,000	New Scirocco TSI	2ドア 7速DSG* 右ハンドル 燃費消費率: 15.8km/ℓ <sup>#1</sup> ￥3,920,000	New Tiguan Sport & Style	4ドア 7速DSG* 右ハンドル 燃費消費率: 9.6km/ℓ <sup>#1</sup> ￥4,220,000
New Golf TSI Highline	4ドア 7速DSG* 右ハンドル 燃費消費率: 16.2km/ℓ <sup>#1</sup> ￥3,120,000	New Scirocco 2.0TSI	2ドア 6速DSG* 右ハンドル 燃費消費率: 13.2km/ℓ <sup>#1</sup> ￥4,470,000		

フォルクスワーゲン ニューゴルフ 体感キャンペーン 応募期間: 2009年6月6日(土)~8月23日(日)

世界が認めたニューゴルフのクオリティを見て、触って、走ってご体感ください。  
全国抽選で3種類の賞品をプレゼント。今すぐショールームへ!!  
試乗対象モデル: ニューゴルフ  
応募方法: 期間中、正規ディーラーでご試乗の上、キャンペーン応募用紙に必要事項をご記入いただき、担当セールススタッフにお渡しください。  
A賞 3名 ドイツアウトバーン体験 4泊6日の旅 B賞 5名 ツーリスト旅行券 50,000円相当 C賞 150名 QUOカード 1,000円相当  
※キャンペーンの詳細はショールームスタッフへお問い合わせください。

時代を先をゆく価値を、お近くのショールームで。  
フォルクスワーゲン ニューモデル フェア 6/6 SAT 7 SUN

0120-924-403  
[www.volkswagen.co.jp]